

報道関係者の皆様へ



雲南市

情報提供	
令和7年4月2日(水)	
担当課 (担当者)	市民環境部環境政策課 (松蔭 佳子)
電話	0854-40-1033
F A X	0854-40-1039

Press Release

送付文書 2枚(本状のみ)

開催日: 4/8(火)

雲南市の地域エネルギー事業に関する連携協定の締結について

本件のポイント: 市内に新たに太陽光発電のPPA事業や電力小売事業を行う「株式会社うなん共創エネルギー」が設立され、市と協定を締結し、再生可能エネルギー等の普及推進を図ります。

内容

地域エネルギー事業を通じて、2050年までに雲南市における温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指し再生可能エネルギーの普及を推進することで、暮らしの豊かさの向上、適応力(レジリエンス)の向上及び地域経済循環の向上を図り、生命(いのち)と神話が息づく持続可能なまちづくりに寄与することを目的に連携協定を締結します。

【調印式概要】

日付: 令和7年4月8日(火) 9:00~(10:00頃終了見込)

場所: 雲南市役所 5階全員協議会室

内容: 開会 ①市長挨拶②概要説明③協定締結④締結者より挨拶⑤記念撮影

【締結者・出席者】

株式会社うなん共創エネルギー 代表取締役 中嶋 崇史(なかじま たかふみ)氏

雲南市長 石飛 厚志

【協定の概要】

上記内容の達成のため、

- ①公共施設、事業所、一般家庭等にオンサイトPPA事業による太陽光発電設備や蓄電池を導入
(※オンサイトPPA: 発電事業者が、需要家の敷地内に太陽光発電設備を事業者の費用により設置し、所有・維持管理をしたうえで発電された電気を需要家へ供給する仕組み)
- ②再生可能エネルギーを含む電力を安定的かつ適正な価格で供給
- ③再生可能エネルギーの活用及び創出による地域課題の解決、地域の活性化につながる活動
- ④地域ニーズを踏まえた付加価値やサービスの提供
- ⑤市民、学校、企業等への再生可能エネルギーや気候変動対策に代表される持続可能な社会の構築に関する情報提供と学習機会を創出し、理解促進及び普及啓発並びに人材育成に取り組むなどを、雲南市と株式会社うなん共創エネルギーが連携して取り組む内容。

【提携先の概要】

▶株式会社うんなん共創エネルギー

本年2月、公募により株式会社リクロスエクスパンションを選定後、市内に新たな事業会社として株式会社うんなん共創エネルギーが誕生（会社概要は以下のとおり）。

株式会社リクロスエクスパンションが95%出資。今後、雲南市は5%出資する予定。

設立日：令和7年4月1日 所在地：雲南市木次町木次 資本金額：1,000万円

▶株式会社リクロスエクスパンション（東京都新宿区）

代表取締役の中嶋崇史さんが早稲田大学環境総合研究センター客員次席研究員の経験を活かし、2014年4月に設立。エネルギー・リサイクル分野のビジネスプロデュースを得意領域とし、2018年には熊本県球磨村との連携協定に基づき地域新電力会社として株式会社球磨村森電力を設立。2022年には環境省「脱炭素先行地域※（第1回）」に選定される。また、2023年には熊本県あさぎり町において(株)あさぎりエナジーを設立し、環境省「脱炭素先行地域（第3回）」に選定される。さらに、2023年に熊本県五木村において(株)五木源電力を設立し、脱炭素先行地域で得られた知見の横展開を進めている。複数の地域と連携し、地域脱炭素を進めるとともに、様々な地域貢献や域外交流人口の増加にも貢献するなど、地域へ裨益する取組を実践されている。こうした取組が評価され、代表取締役の中嶋崇史さんは、環境省の脱炭素まちづくりアドバイザーに就任されている。

※2050年カーボンニュートラルに向けて、「地域脱炭素ロードマップ」に基づき環境省が公募する地域で、2030年度までに「民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロ」などの要件を地域特性に応じて実現するモデル地域。最大50億円が自治体に交付される。



幸せを運ぶコウノトリと
共生するまちづくり
雲南市